

1 - 1 頭頸部癌患者に対する AHSS(ササエキス)を中心とした補完代替医療と低用量抗癌剤併用との免疫学的比較検討

○ 平田章二

平田章二 口腔外科

東札幌病院 口腔顎顔面外科

〔はじめに〕 機能性食品としての AHSS はササ抽出液から得られる抗腫瘍性植物多糖体である。その作用機序は、生体の持つ免疫能を賦活することにより、抗腫瘍効果を発揮し、腫瘍縮小効果、腫瘍再発防止効果および QOL の向上が認められ、第 3, 4 回本学会で報告してきた。当科では、頭頸部癌に対し近代医療（低用量抗癌剤）に補完代替医療（AHSS、食生活指導等）をあわせた統合医療を行っている。最近偶然にも他院にて AHSS を中心に補完代替医療のみが行われた舌癌患者の全身免疫応答と腫瘍局所免疫応答を調べた機会を得た。

〔目的〕 頭頸部癌に対し統合医療が行われた患者と AHSS を中心とした補完代替医療のみが行われた患者の免疫学的差異を検討する。

〔方法〕 当院にて統合医療が行われた頭頸部癌患者と他院にて AHSS を中心に補完代替医療のみ行われた舌癌患者において臨床効果と全身免疫応答（CD4, CD8, G/L 比、NK 活性等採血にて）そして腫瘍局所免疫応答（CD4 陽性 T-Cell、マクロファージ等を病理組織学的にて）の関係を調べた。

〔結果〕 統合医療が行われた症例においては、全身免疫応答が強い症例では腫瘍局所応答もみられ、抗腫瘍効果もみられた。一方、補完代替医療のみ行われた症例は、全身免疫能は活性化されていたが、腫瘍局所免疫応答は非常に乏しかった。

〔考察〕 まず癌細胞に低用量抗癌剤で damage を与え、細胞表面を修飾することにより免疫担当細胞が癌抗原を見つけやすい環境を作る。この状況下で AHSS を摂取することにより、生体の持つ一連の免疫能が活性化され抗腫瘍効果が発揮されと考えられる。従って、補完代替医療のみを行うより、生体の免疫能に悪影響を与えない程度の低用量抗癌剤を併用するほうが抗腫瘍効果が期待できると思われる。今後さらに症例を増やし検討する。